

ゆるスポーツ 普及は全力で

小松に協議会設立へ



昨年10月の福祉ふれあいフェスティバルで、くつしまいれを楽しむ参加者たち(小松市こまつどーム)(同市提供)

金沢のNPO法人が県内初

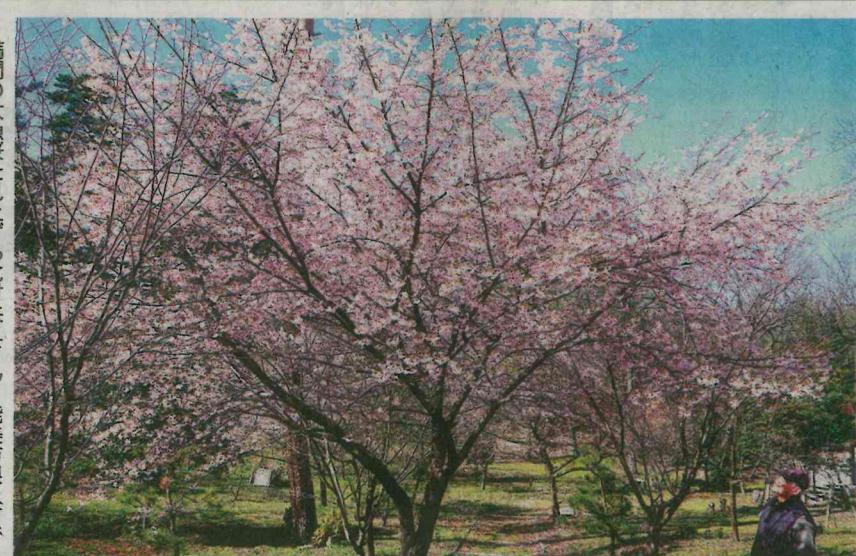
金沢市のNPO法人石川バリアフリースポーツセンターが、誰もが気軽に楽しめる「ゆるスポーツ」の普及に取り組む「こまつゆるスポーツ協議会」(仮称)を発足させる。小松市が支援して体験イベントなどを開き、魅力を広める。センターによると、ゆるスポーツの協議会を設立するのは県内で初めて。六月をめざし準備を進める。(青山直樹)

ゆるスポーツは年齢や性別、障害の有無にかかわらず、徐々に人気を集めている。小誰もがゆるっと楽しむことができる。靴下を丸めてかごに入れる「くつしまいれ」など、

ど、さまざまな競技があり、松市は優しい町づくりにつなげようと、三年前から普及を推進。うどんがのった皿をゴムで引き、スライドさせて届ける「うどーりんぐ」など、独自競技も考案してきた。

協議会は六月までに小松市内に事務所を設け、世界ゆるスポーツ協会(東京)の沢田智洋代理理事をアドバイザーに迎える。今後も市と協力して独自のゆるスポーツの考案を進め、小学校や福祉施設などで体験イベントを開く予定だ。

石川バリアフリースポーツセンターは、将来的には同市の団体に運営を委ねる方針。坂井さゆり理事長(47)は「小松はゆるスポーツの普及を進めおり、ぜひ協力したかった」と話し、「誰もが一緒に楽しめるのが、ゆるスポーツの魅力。やさしい町づくりにつながれば」と期待を込めた。



満開の大漁桜を見上げる北村共一さん(能美市根上町)

大漁桜 早くも満開 根上山中

能美市根上町
で、早咲き品種
よりも一週間早
た。

史跡には枯れ
わって、カンヒ
など七種類の桜
ている。二十本
初に咲き始め、
ヤエザクラまで
開花していくた
めに咲き始め、
ヤエザクラまで
花が早まる見込
管理する高坂・
会の北村共一会
櫻がこんなに早
に無い」と驚き、
は見物客が意外
ヒヨドリやメジ
見られるので、
でほしい」と話

白山商議所が
経営相談窓口
あすから土、日、祝日
新型コロナウイルス感染
症の拡大を受け、白山市の
白山商工会議所は十四日か
ら、会員の中小企業を対象
にした経営相談窓口を土、



新たに設置さ
る。利用で
ども紹介す
り、企業か
たことから
業や宿泊業、
の問い合わせ

日曜や祝日に開く。期間は
三月末までを予定してい
る。

企業の経営相談を受ける

ラ 6.00
8.00
30